

彙報(昭和55年1月〜同12月)

●人事異動

二月一日 狩野博幸 学芸課に就任
四月一日 三木 彰(次長) 文部省に出席
小山忠男 次長に就任
稲田和彦 主任研究官に昇任
西上 実 学芸課に就任
十月一日

●特別展覧会(○印は共催)

○近代日本の漆芸

会期 一月十五日(火)〜二月二十四日(日)
会場 京都国立博物館・本館
主催 京都国立博物館・東京国立近代美術館

*明治末期から現在まで近代漆芸の代表的作家の作品一六〇点を公開。
○西本願寺の秘宝

会期 四月十五日(火)〜五月二十五日(日)
会場 京都国立博物館・本館
主催 京都国立博物館・西本願寺・朝日新聞社

*国宝親鸞聖人像や国宝三十六人家集をはじめ国宝八件、重要文化財十七件、重要美術品二件を含む西本願寺所蔵の文化財八三件を公開。

○英国デヴィッド・コレクション 中国陶磁展

会期 七月二十二日(火)〜八月三十一日(日)
会場 京都国立博物館・本館
主催 京都国立博物館・日本経済新聞社

*故パースバル・デヴィッド卿収集の中国陶磁の中から重要な紀年銘作

品や官窯を含む代表的な作品一〇〇点を公開。
古面の美——信仰と芸能——

会期 十月七日(火)〜十一月二十四日(日)
会場 京都国立博物館・本館
主催 京都国立博物館

*地方の古社寺所蔵の仮面を中心に、古代から中世に至る古面・装束等四百余点を一堂に展示した。

●特別陳列(▽印は年間の恒例的な陳列)

▽十二天画像と山水屏風 一月四日(金)〜一月二十七日(日)

新館2階11号室 中野玄三担当

▽高台寺蒔絵 一月四日(金)〜二月十一日(日)

新館2階15号・中央室 灰野昭郎担当

▽人形 二月十五日(金)〜三月二十三日(日)

新館2階14号・中央室 切畑健担当

*特に江戸時代中期の衣裳人形の新資料を出陳した。

探幽縮図 六月四日(水)〜六月二十九日(日)

新館2階中央室 中野玄三担当

*館蔵品図録『探幽縮図』(上)の出版を記念して公開陳列した。

▽新収品展 七月二日(水)〜八月三日(日) 新館2階8号・13号・中央室

*昭和五十四年度の文化庁管理換、寄贈、購入による収蔵品を展示。

世界図・日本図 八月六日(水)〜九月七日(日)

新館2階11号室 難波田徹担当

*十六・七世紀の絵画性に富んだ世界図・日本図八件を陳列。

井伊家伝来の刀剣 十月一日(火)〜十一月二十四日(月)

新館2階16号室・中央室 稲田和彦担当

*近江彦根の井伊家に伝来した刀剣とその刀装具七十件を陳列。

古代の人面・鬼面 十月七日(火)〜十一月二十四日(日)

本館10号室 八賀晋担当

*縄文時代の土製仮面及び弥生時代から平安時代までの器物に表わされた

人面・鬼面を集め陳列した。

江戸時代の能装束 十月七日(火)～十一月二十四日(日)
新館2階14号室 切畑健担当

*特別展覧会「古面の美」出陳の桃山時代能装束につき、当代装束の特色をうかがう。

書と料紙装飾 十月十五日(水)～十一月十六日(日)
新館2階13号室 木下政雄担当

▽鉄斎 十二月十七日(水)～一月十八日(日) 新館2階12号室 金沢弘担当

●特別展示

国宝 釈迦金棺出現図 七月二日(水)～七月十三日(日) 新館2階5号室

*松永記念館旧蔵の同作品が文化庁より管理換えされ、それを記念して短期間陳列公開した。

●出版刊行

『探幽縮図 上』 京都国立博物館 昭和五十五年三月 中野玄三・金沢弘・杉村邦彦担当

*京都国立博物館所蔵の探幽縮図約半数の図版と釈文を収録。B4
収録図版二六九頁、頒価一万九千円。

『工芸にみる古典文学意匠』 京都国立博物館 昭和五十五年三月 河原正彦・切畑健・稲田和彦・灰野昭郎担当

*昭和五十五年秋に開催した特別展覧会「日本の意匠——工芸にみる古典文学の世界——」の図録。白畑よし・灰野昭郎・切畑健・河原正彦の各論文を掲載。B4 収録図版一九三図(うち原色図版三六図) 便覧、図版解説。頒価二万円。

『京都国立博物館 学叢 第2号』 京都国立博物館 昭和五十五年三月

*京都国立博物館職員による研究紀要、A3、論文三篇、作品研究四篇、研究随想、研究彙報、昭和五十四年館職員執筆物一覧など収録。図版原色三頁 単色十頁。頒価三千円。

『京都社寺(文化財)調査報告書(一)』 京都国立博物館 昭和五十五年三月
A4 総頁数三五頁(単色図版八頁)

*昭和五十四年度に実施した京都社寺所蔵文化財の調査報告。伏見区を中

心に十七寺の報告を収載。

『研究発表 誕生と涅槃の美術』 仏教美術研究上野記念財団助成研究会報告書
と座談会 第七冊 昭和五十五年三月 A4 本文図版七十七頁(単色図版十二頁)

*昭和五十三年十一月十三日におこなわれた研究シンポジウムの要約。末尾に涅槃関係要文抜粋、涅槃群像構成要覧を附す。

『井伊家伝来の刀剣』 特別陳列目録 京都国立博物館

*昭和五十五年秋に開催した特別陳列の目録。B4 一七頁 収録図版一二図 解説・出品目録。頒価二百円。

『古面の美——信仰と芸能——』 特別展覧会目録 京都国立博物館 昭和五十五年十月 B5 収録図版四七一図(うち原色図版八図)

*昭和五十五年十月七日から十一月二十四日までを会期とする特別展覧会「古面の美——信仰と芸能——」および特別陳列「古代の人面・鬼面」の解説付総目録。頒価千円。

●シンポジウム

研究発表と座談会「誕生と涅槃の美術」

主催 仏教美術研究上野記念財団助成研究会(代表者 林屋辰三郎)

期日 十一月十三日(月)

会場 京都国立博物館講堂

参加者 約六十名

研究発表

『仏教における誕生と涅槃』 佐和隆研

『インドにおける誕生と涅槃』 肥塚隆

『中央アジアにおける誕生と涅槃』 百橋明穂

『日本の誕生仏』 田中義恭

『日本の涅槃図』 中野玄三

座談会(司会 井上正)

●国内における調査研究

九世紀を中心とする雑密系尊像の調査

一月～三月 担当 井上正・伊東史朗

*三重県（観音寺・朝田寺・普賢寺・田宮寺）、大阪府（勝尾寺・栄根寺・満願寺）、兵庫県（円教寺・楊柳寺）、滋賀県（大岡寺・保福寺・市辺薬師堂）、岐阜県（円興寺・美濃国分寺）、愛知県（高田寺）、広島県（古保利薬師堂・文蔵寺・青目寺・竜華寺・摩訶訶寺）等撮影調査。

京都府下社寺調査 四月～十二月 担当 井上正・伊東史朗
伏見区・南区を対象に六カ寺を調査した。

大徳寺山内諸寺院所蔵工芸品の調査 九月～十月 担当 河原正彦

*大徳寺塔頭、黄梅院、養徳院、龍源院、徳禅寺、大慈院、瑞峯院、大仙院、真珠庵、芳春院、正受院、大光院、興臨院、三玄庵、玉林院、高桐院を調査。

●海外における調査研究及び出張

三木彰 一月二十八日～二月三日（行先 大韓民国）

井上正 一月二十八日～二月八日（行先 大韓民国）

*古面の調査及び博物館活動の視察。

八賀晋 二月十八日～三月一日（行先 ギリシャ）

*ギリシャにおける古代出土遺物及び建造物の調査

八賀晋・岸本弘三 四月二十日～四月二十九日（行先 中華人民共和国）

*中国古代出土文物の調査及び博物館施設の視察。

金沢弘 五月六日～五月二十二日（行先 中華人民共和国）

*中国絵画の調査研究及び博物館施設の視察。

木下政雄 八月二十一日～九月三日（行先 中華人民共和国）

*中国仏教寺院並びに墨跡の調査研究

金沢弘 八月二十六日～十一月十三日（行先 アメリカ）

*淋派絵画展（ホノルル）に随行し、ホノルル・アカディミイ・オブ・アーツ及びポストン美術館の所蔵品調査。

灰野昭郎 八月三十一日～九月十二日（行先 アメリカ）

*米国にある日本漆器の調査と研究。

難波田徹 九月十五日～九月二十六日（行先 大韓民国）

*「古面の美」出陳作品の借用及び古代出土遺物の調査と研究。

切畑健 九月二十三日～十月四日及び十二月三十日～五六年一月十四日

（行先 フランス）

*北斎とその時代展の陳列指導及び東洋染織品の調査と研究。

井上正 十二月八日～十二月十六日（行先 大韓民国）

*「古面の美」出陳作品の返却及び慶州附近磨崖仏の調査と研究